

子供たちに伝えたい日本の良さ

今月のテーマ 関東大震災の発生と復興

毎年、9月1日になると防災訓練を行う自治体・地域が多くあります。9月1日に行う自治体等が多いのは、今から93年前の大正12年(1923年)9月1日午前11時58分32秒、南関東一帯を襲う推定マグニチュード7.9の巨大地震が発生したからです。この地震の震源地は、東京から約80kmの相模湾北西部海底、震源の深さは約15kmでした。被害は、東京を中心に湘南地方・三浦半島・房総半島に及びました。

私たちが暮らす東京は、大きな地震や空襲等によって多くの人命を失い、焼け野原となった歴史があります。そして、そのたびに、当時の人たちの賢明なる努力による復興がなされてきました。現在の私たちの生活は、先人たちの努力の上に成り立っているのです。今月号では「関東大震災」、平成29年1月号で「江戸の三大大火」、3月号で「東京大空襲」を取り上げます。

関東大震災の発生

9月1日、午前11時58分44秒頃、東京の中心部が揺れ始めました。東京では、現在の墨田区や江東区一帯で最も強い揺れとなりましたが、この地域の20%から30%の家屋が倒壊する状況でした。また、地震の発生が正午近くであったことから、昼食を準備していた家庭の竈(かまど)や七輪(しちりん)から火災が発生し、折からの強風によってたちまち延焼しました。



【有島生馬氏制作「大震災記念」】

さらに、避難者の持ち運んだ布団などの家財道具が、延焼促進の要因にもなりました。

火災は9月3日の午前10時頃まで続きました。その結果、この地震・火災等による死者・行方不明者は10万人以上、被害総額は当時のGDP(国内総生産)の約4割に当たる55億から65億円となり、甚大な被害が出ました。

震災による被害

現在の墨田区にあり、両国国技館や江戸東京博物館の北に位置している東京都立横網町公園は、当時、陸軍の被服廠^{ひふくしょう}跡地の空き地でした。そのため、下町地域に住む多くの人々がこの空き地に避難してきました。しかし、強風によってあおられた炎は四方から迫って家財道具などに燃え移り、激しい火災と旋風を巻き起こして約4万人近くの人々の命を奪いました。

当時の日本橋区、浅草区、本所区、京橋区、神田区及び深川区の下町6区の焼失面積は80%から100%と、ほぼ壊滅状態となりました。



【横網町公園にある東京都慰霊堂】



【横網町公園にある東京都復興記念館】

震災の史跡

当時の東京府・市は、震災から49日に当たる大正12年(1923年)10月19日、横網町公園の地で合同の大追悼式を挙行するとともに、翌年9月1日に震災^{おう}死者一周年祭並びに法要を行いました。以来絶えることなく今日まで続けられています。また、震災後の昭和5年(1930年)、亡くなられた人々の遺骨を納めるとともに霊を弔い、大惨事が再び発生しないようにとの願いの下、皇室から庶民まで多くの方の寄附によって、震災記念堂(現在の「東京都慰霊堂」)が建設されました。

昭和6年(1931年)には、慰霊堂の東側に復興記念館が建設され、震災当時の記録写真や被害を物語る資料が展示されています。また、園内には「震災遭難児童弔魂像」や「関東大震災朝鮮人犠牲者追悼碑」があります。

東京慰霊堂及び復興記念館

- ◆ 開館時間 復興記念館展示室：午前9時から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)
(休館日は月曜日(休日の場合は翌日)及び年末年始)
- ◆ 入館料 無料
- ◆ 所在地 東京都墨田区横網二丁目3番25号 電話 03-3623-1208
- ◆ 最寄駅 JR両国駅下車 西口より徒歩10分
都営地下鉄大江戸線両国駅(江戸東京博物館前)下車 A1出口より徒歩2分
※詳細は、HPを御覧ください。(http://tokyoireikyokai.or.jp/)

* 軍の部隊に支給する被服品を調達したり貯蔵したりした工場と、これをまとめていた機関

震災後の復興計画

関東大震災の発生の直後
大正12年(1923年)9月2日 第2次山本権兵衛内閣が成立

この時、内務大臣には、東京市長を務めた経験のある後藤新平が就任しました。
後藤の震災からの復興計画(帝都復興)は、東京を近代的な都市に改造する機会として捉えられ、ヨーロッパの都市をモデルとし、道路・橋・運河・公園・鉄道網・港湾など総合的に整備が進められました。

この時の計画により、現在の昭和通り、靖国通り及び隅田川の新橋の建設などが行われました。

これらを一例とし、後藤の復興のアイディア・計画は近代的な都市景観を作り出しました。

建築物では、耐震・耐火を目指した公共施設が建設されました。震災時、東京市内の小学校196校中117校が焼失しました。焼失した小学校は、不燃化構造とするため、鉄筋コンクリート建築の復興小学校として再建されました。

再建された小学校の中には、現在も小学校の校舎として、使用されている学校もあります。



【復興小学校：中央区立常盤小学校】

関東大震災は近代未曾有の大災害でしたが、震災の被害を食い止めた例の検証などを通して、道路の拡幅や土地区画整理など数多くの教訓を得ることができ、後の災害対策の礎になりました。

【知っていますか?】

あなたの地域の「防災に向けた取組」について調べてみましょう。

伝統・文化に関するイベント等

★ 生活文化局

○東京大茶会2016

【日時】江戸東京たてももの園 平成28年9月24日(土)・25日(日)

浜離宮恩賜庭園 平成28年10月15日(土)・16日(日)

【内容】 茶道を中心とした、日本の伝統文化・芸能を体験できる「東京大茶会2016」を開催します。4歳以上から小学生以下までを対象とした「子供のための茶道教室」(200円)や、屋外で行う「野点」(300円)、高校生が主体となって運営する「高校生野点」(浜離宮恩賜庭園のみ・300円)等があります。

若い世代を含む多くの方々に、茶道をはじめとした「和の文化」を身近に楽しんでいただけるプログラムを多数用意して、御来場をお待ちしております。

※詳細はHPを御覧ください。(http://tokyo-grand-tea-ceremony.jp/)

★ 都立中央図書館

○江戸東京の歴史文化に関する講演会「華麗なる江戸城大奥の世界—仕事と生活—」

【日時】平成28年10月15日(土) 午後2時から午後4時まで

【場所】4階 多目的ホール(講演会)、企画展示室(関連資料の展示)

【講師】山本 博文氏(東京大学史料編纂所教授)

【定員】100名(抽選、無料)

【申込】平成28年9月17日(土)まで(往復はがきは消印有効)

【内容】 江戸城大奥は、江戸随一の職場でもありました。そこで働く女性たちは、一体どのような仕事や生活をして過ごしていたのでしょうか。大奥の知られざる世界を解き明かします。当日は、講演に関連する貴重な特別文庫室所蔵資料の一部も展示します。

※詳細は、HPを御覧ください。(http://www.library.metro.tokyo.jp)

○人文科学情報ミニ展示「秋草に目を向けて」

【期間】平成28年9月2日(金)から11月9日(水)まで

【場所】3階 人文科学系資料・閲覧室

【内容】 夏の暑さはまだ残りますが、もうすぐ秋の草花を楽しめる季節です。すすきに萩といった秋の七草、色づきが待ち遠しいモミジにイチョウ…。様々な秋の草花を描いた資料を御紹介します。図書館の資料で秋草を眺めた帰り道は、地面の草たちにも目を向けてみませんか。

○美術展関連・棚展示「時代を写す報道写真」

【期間】平成28年9月2日(金)から10月5日(水)まで

【場所】3階 人文科学系資料・閲覧室 美術情報コーナー

【内容】 目黒区の東京都写真美術館では、「世界報道写真展2016」を開催中です(10月23日(日)まで)。同展は、世界45か国約100会場を巡り、約350万人以上が足を運ぶ世界最大規模の写真展です。これに関連し、国内・海外の報道写真の写真集や関連資料などを展示しています。現実の瞬間を鮮やかに切り取った報道写真の作品を、ぜひ御覧ください。

【テーマにおける引用・参考文献資料、写真提供】

- ・公益財団法人 東京都慰霊協会 (http://tokyoireikyokai.or.jp/kyoukai/)
- ・「江戸から東京へ」 東京都教育委員会 ・防災教育副読本「地震と安全」 東京都教育委員会
- ・総務省消防庁 (http://www.fdma.go.jp/ugoki/h1509/03.pdf)
- ・中央区教育委員会

※ 本資料に対する御意見・御感想、本資料の活用実践等がありましたら、右記担当へ御連絡ください。今後の資料作成の参考とさせていただきます。

【担当】東京都教育庁指導部指導企画課
電話 03-5320-6869
ファクシミリ 03-5388-1733

